

ソウル

縄文魂ノ波動



縄文大祭典

第16回

三内丸山お月見

2014年9月6日(土)・7日(日)

会場—特別史跡三内丸山遺跡／縄文時遊館

入場
無料

6日(土)

発掘調査現地説明会

縄文宵待ちフォーラム

「縄文遺跡と市民～北の縄文文化回廊の視点から」

月待ち…縄文朗読会

「縄文に恋した詩人・宗左近」へのオマージュ

お月見コンサート

月の宴

(有料・要予約)

縄文パノラマビュー

7日(日)

縄文ワークショップ

ブチXブチ 縄文アート工房 遺跡で体験!ブチ考古学Xブチ縄文アート

北の縄文文化回廊フォーラム

同時開催

Feel The Roots 2014

三内丸山遺跡縄文アートフェスティバル(主催/青森県)

縄文工房 J-Factory(主催/Jomo☆rock)

6日(土)・7日(日)

発掘調査現場公開 クイズラリー
縄文グッズ作り体験 縄文生活体験コーナー
青森県特産品販売会



◎主催事務局／TEL017(734)9924
(青森県教育庁文化財保護課
三内丸山遺跡保存活用推進室)
◎縄文時遊館／TEL017(781)6078
◎NPO法人三内丸山縄文発信の会／
TEL017(773)3477
主催／縄文大祭典実行委員会
共催／青森県、青森県教育委員会
後援／北の縄文文化回廊づくり推進協議会、青森
市教育委員会、青森商工会議所、東奥日報社、陸
奥新報社、デーリー東北新聞社、河北新報社、読売
新聞青森支局、朝日新聞青森総局、毎日新聞青森
支局、産経新聞青森支局、NHK青森放送局、RAB
青森放送、ATV青森テレビ、ABA青森朝日放送、
青森ケーブルテレビ、エフエム青森 協力／青森県
の縄文遺跡群 世界遺産をめざす会、サンロード青森

縄文大祭典

第16回 三内丸山お月見

6日

7日

発掘調査現地説明会

【1回目】午前10時30分～
【2回目】午前11時～
受付／午前10時～(各回50名まで)
場所／遺跡内西盛土の西側

縄文宵待ちフォーラム

時間／午後3時～5時
会場／縄文時遊館縄文シアター

テーマー「縄文遺跡と市民～
北の縄文文化回廊の視点から」

講師／小山修三
(国立民族学博物館名誉教授、(財)千里文化財団理事長)
岡田康博(青森県教育庁参事)※コーディネーター
菊池正浩(元NHKプロデューサー)
北の縄文文化回廊づくり推進協議会会員
小林武人(NPO法人jomonism代表)
石笠穂高(NPO法人jomonism理事)

月待ち…縄文朗読会

時間／午後5時30分～6時30分頃
会場／復元大型住居前「まつりの丘」

テーマー「縄文に恋した
詩人・宗左近へのオマージュ」

詩の朗読者／奥村潮、小山内弘海、渋谷聡
音楽／三戸誠(ヴィオラ)

お月見コンサート

時間／午後6時30分頃～7時45分頃
会場／復元大型住居前「まつりの丘」
出演／宮崎龍美(縄文太鼓) 三戸誠(ヴィオラ)
引地桂子(ソプラノ) 竹内奈緒美(ピアノ)
山上進(津軽三味線) ねぶた師・作龍バンド

月の宴 (コンサート終了後 ※午後8時頃)

※有料3000円 要事前申し込み(三内丸山縄文発信の会TEL017-773-3477)
定員になり次第メ切

縄文ワークショップ (縄文工房 ※主催/jomo ☆rock)

プチXプチ 縄文アート工房
遺跡で体験!プチ考古学Xプチ縄文アート
時間／午前10時～夕方
会場／遺跡内
講師／鈴木康二(考古学者)
安芸早穂子(縄文アーティスト)
宮崎龍美(縄文太鼓)

北の縄文文化 回廊フォーラム

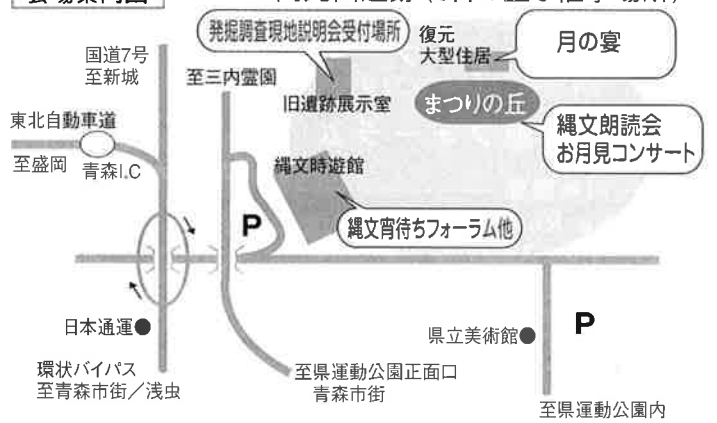
時間／午前10時30分～11時30分
会場／縄文時遊館2F会議室
テーマー「縄文遺跡と市民のかかわり、役割」(仮)
進行／遠藤勝裕
(日本学生支援機構理事長・東京都教育委員)
参加者／北の縄文文化回廊づくり
推進協議会メンバーなど
※要申込(三内丸山縄文発信の会TEL017-773-3477) 定員になり次第メ切



入場
無料

※時間・内容は変更になることがあります。

会場案内図



※会場は夜には寒くなる可能性がありますので、防寒着の用意をおすすめします。
※6日のお月見コンサート終了後の市営バス運行は終了しております。帰宅の際の交通手段は各自で確保されるようお願いいたします。

●講師・出演者略歴●

縄文宵待ちフォーラム

小山修三 (こやましゅうぞう)
国立民族学博物館名誉教授、(財)千里文化財団理事長
1939年香川県生まれ。オーストラリア・アボリジニや北米北西海岸のハダ族の狩猟採集民の民族考古学的研究を行う。著書多数。

岡田康博 (おかだ やすひろ) 青森県教育庁参事・文化財保護課長
弘前市生まれ。県内の遺跡調査を多数手がけ、92年から三内丸山遺跡担当。文化庁文化財調査官などを経て2009年より文化財保護課長。2013年より県教育庁参事。

菊池正浩 (きくち まさひろ) 元NHKプロデューサー
1946年生まれ。弘前市出身。94年大集落跡発見の三内丸山を全国で紹介。NHKスペシャル「街道をゆく」[4大文明]などを担当。

小林武人 (こばやし たけと) NPO法人jomonism代表
慶応大学環境情報学部卒業後、東京工科大学クリエイティブ・ラボにてアニメーションを学ぶ。3DCGモデリング/デザインのスペシャリスト。

石笠穂高 (いしの ほたか) NPO法人jomonism理事
マーケティング/コミュニケーションプランナー、コピーライター、エディター、ブランディング/PR/コミュニケーションコンサルタント。

北の縄文文化回廊づくり推進協議会
北海道・青森・岩手・秋田における縄文文化遺産の保存・活用に携わる民間団体により2008年設立。縄文の魅力や価値のアピールを目的とし、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に向け、普及・啓発活動を行っている。

月待ち…縄文朗読会

奥村潮 (おくむら うしお) フリーアナウンサー
北京市生まれ、青森市育ち。RABアナウンサーを経て司会、朗読、CM・イベントのプロデュースなど多様に活動中。NHKカルチャーで「トークサロン」「読み語りワールド」開設。(財)棟方志功記念館理事。裏千家茶道教授。

小山内弘海 (おさない ひろみ) 詩人
1937年北都三好村に生まれる。60年弘前大学卒業後、教員生活に入る。90年詩集「1986年7月の朝 飛行船を見に行った」発刊。10月同詩集で第31回土井晩翠賞受賞。現在、詩誌「胴乱」編集発行。県詩人連盟会長。

渋谷聡 (しぶたに さとし) 詩人
詩集に「おとうもな」「義」「ひとりぼっちのおとうさん」「切る」「豚に近づく獅子がいる」「流れる箱このままだこへ」。1980年代にはシンガー・ソングライターとして活動。現代詩を、自らの伴奏で歌い続ける。現在、東奥詩壇選者。

三戸誠 (さんのへまこと) ヴィオラ奏者
国立音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻修了。海外でも多くのコンサートを開く。神戸音楽コンクール作曲部門で銀メダル受賞。国立音楽大学などで講師を務める。

お月見コンサート

宮崎龍美 (みやざき たつみ) 縄文太鼓・パーカッション奏者
故山内清男教授が提唱した「有孔鍔付土器」太鼓説を基に縄文太鼓を完成させ、全国に向けて発表。アメリカ、フランスでも公演を行う。東急ハズ大賞入選など受賞歴多数。

三戸誠 (さんのへまこと) ヴィオラ奏者
山上進 (やまがみすすむ) 津軽三味線・笛奏者
10代から津軽三味線演奏者として才覚をあらわし、横笛、尺八と芸域を広げ、現在多方面において活躍中。CDに「津軽の響き」など。

引地桂子 (ひきぢけいこ) ソプラノ
奈良教育大学大学院修了。現在函館市に住みクラシック・ギャラリー主宰。ルネサンスの声楽アンサンブルから現代作品委嘱初演まで、幅広いレパートリーで精力的に演奏している。

竹内奈緒美 (たけうち なおみ) ピアノ
国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。現在、青森市内で声楽・器楽・合唱の伴奏、ピアノソロ・デュオの演奏活動を行っている。

ねぶた師・作龍バンド
青森ねぶた制作者で第5代ねぶた名人・千葉作龍率いるバンド。

縄文ワークショップ

鈴木康二 (すずき こうじ) 考古学者
(公財)滋賀県文化財保護協会主任。佛教学非常勤講師。修士(文化史学)。専門は先史学(考古)・博物館学。滋賀県在住。

安芸早穂子 (あきさほこ) 縄文アーティスト
大阪府出身。「週刊朝日百科」「大系日本の歴史」「縄文探検」などに縄文人像を描く。他にまほろば博覧会など。著作に絵物語「森のストーリー」。

宮崎龍美 (みやざき たつみ) 縄文太鼓・パーカッション奏者

北の縄文文化回廊フォーラム

遠藤勝裕 (えんどうかつひろ)
独立行政法人日本学生支援機構理事長・東京都教育委員
1945年山形県生まれ。68年日本銀行入行、90年青森支店長、94年神戸支店長。2011年より現職。2014年東京都教育委員。青森県ファンで、三内丸山縄文発信の会東京支店長を務める。